

牧師室から(2023.7.9)

今日（7月6日）のローズンゲンを読んでいたら、宗教改革の先駆者ヤン・フスの殉教日であることを知った（もちろん当時と現在とでは暦が異なるので日付は正確ではないと思うが）。それが1415年というからルターの宗教改革のおよそ1世紀前である。そのフスも、やはり彼の先駆者であるウィクリフの思想を受け継いでいるのである。

彼はプラハ近郊の出身であり、プラハ大学の学長なども務めるが、自身の信念を曲げることをせず、最終的にはコンスタンツ公会議で異端として火刑に処せられた。

本日の祈りに、フスの祈りが掲げられているので、それを私訳で記す。

「来たれ、キリスト、長く渴望していた客人。あなたはこの世を御手の内に置かれています。どうか私たちの心にあなたを見させ、恐れることなくあなたへと向かわせてください。いのちの救いを与えてくださいますように。また、あなたの意思に従って私たちをあなたの方に向けさせてください。あなたは永遠に生きておられ、働かれています。どうぞ私たちをあなたの栄光へと導いてください。」

ちなみに現代チェコ語のアルファベットの上的鉤型の発音記号は彼の創作であるということである。

（鈴木淳一牧師）